

川内小学校

川内小学校です。仁淀川のほとりにある自然豊かな環境にある学校です。今年度は11名の1年生が入学し、全校児童66名で勉強にスポーツに頑張って取り組んでいます。

春の遠足では、全校で近くの仁淀川へ行きました。ここでは、開かれた学校づくり推進委員の皆様にご協力いただき、ゲームやそうめん流しを楽しむことができました。



5月の運動会では、各学年が練習してきた一輪車の演技を発表し、大きな拍手をもらいました。また、体験学習も



盛んで米づくりを中心に、麦づくりや芋づくりも行っています。

ここでも開かれた学校づくり推進委員の皆様をはじめ、たくさんの方の協力を得て、子どもたちは様々な経験をすることができています。

学校と保護者と地域が連携して、子どもたちの教育活動が展開されるすばらしい学校です。秋には、収穫祭もあります。そして今は、音楽会へ向けてどの学年も頑張っています。2学期も楽しみがいっぱいです。

のぞみ教室

◆さつま芋の苗植え

のぞみ教室では、5月に槇の山でさつま芋の苗植えをしました。以前にも花壇で苗植えをしたことはありましたが、初めて広い畑で耕すところから始めました。田んぼだった

土地を耕したため、耕す度に大きな石や根っこ、カニや百足などが顔を出し、見なれていないものに驚いている子もいれば、興味を示



し観察をする子もいました。耕した後、雑草予防の黒いビニールシートをかけ、苗を植えるための穴を空けました。子どもたちはそれぞれ苗を持ち、空けた穴に苗を差し込み、その上から土をかけ、たっぷり水を注ぎました。楽しそうな様子で全員で苗を植えることができました。

◆ぶどう・梨の袋かけ

以前、お世話になった森本果樹園へ、ぶどうと梨の袋かけに行きました。果樹園ではスタッフの方より大きくなる実の見分け方や袋のかけ方のコツを丁寧に教えていただきました。子どもたちもどの梨にしようか悩みながら袋かけをすることができました。また、森本さんから果実が熟し始めると野生の動物たちが来て実を食べてしまうことがあると聞き、子どもたちはビックリしていました。



9月の収穫を心待ちにしつつ、自分が袋かけたぶどうや梨が食べられていないことを祈りながら果樹園を後にしました。

◆ラフティング

6月20日の室外活動は、四万十町のふるさと交流センターに行きラフティングをしました。前日までの天気の関係でラフティングをするには川の水量が少なかったのですが、ほとんどの子どもたちが初めての体験だったので、緩やかな水流で楽しく活動することができました。



＜子どもたちの感想より＞

- ・初めてのラフティングはすごく楽しかった。水が冷たかったけど、ガイドさんも優しくて面白かった。
- ・岩の上から飛び込むのが怖くて楽しかった。
- ・ボートを漕ぐのが大変で筋肉痛になった。もう少し川の水があつたらよかったなと思った。
- ・ボートの先端に座って進んでいくのが楽しかった。